

おほとものやかもち ほととぎす  
大伴家持の霍公鳥の歌二首

一四九四番

夏山なつやまの 木末こぬれのしげに ほととぎす 鳴なきとよむ  
なる 声こゑの遥はるけさ

一四九五番

あしひきの 木この間立またち潜くく ほととぎす かく  
聞ききそめて 後のち恋こひむかも

おほとものやかもち なでしこ  
大伴家持の石竹が花の歌一首

一四九六番

我わがやどの なでしこの花はな 盛さかりなり 手た折をりて  
一ひと目め 見みせむ児こもがも

つくはやまの 筑波山に登のぼらざりしことを惜をしむ歌一首

一四九七番

筑波嶺つくはねに 我わが行ゆけりせば ほととぎす 山彦やまひこと  
よめ 鳴なかましやそれ